



学校だより

令和5年11月24日 上田市立第二中学校 No.9

「大人の本気」

11月22日(水)、この日は、1、2年生期末テストおよび3年生総合テスト2日目、二中学生はテストに本気で取り組みました。その午後のできごとです。今度は大人が本気になりました。

「PTAフェスティバル」。子ども、教師、保護者の交流を目的としてPTAが主催するこのフェスティバルは、二中の伝統的な行事です。少しずつ形や内容を変えながら回を重ねてきました。そして、今年は「学校かくれんぼ」です。

本来、隠れる場所などない学校でのかくれんぼ。その学校で、本気で隠れている教師5名、保護者の方5名を、生徒や参加された保護者の方が探しました。



「甲冑の中に!？」



「まさか、この山盛りの落ち葉の下に!?! いた!!」



最後は、全員が校庭に集合して、ドローンを使っての空撮。あっという間の時間。生徒たちにとって思い出に残る青春の1ページとなりました。

当日の運営に加え、この日を迎えるまでにたくさんの準備をしてくださったPTA役員の皆様方。いつも「子どもたちのために」と、本気でかかわってくださり本当に感謝です。ありがとうございました。



<今後の予定>

- 12月 6日(水) 給食費引落日
- 11日(月) 保護者懇談会 <~18日(月)>
- 15日(金) 学年費引落日
- 21日(木) 生徒総会② 地区生徒会③
- 25日(月) 生徒会引継会
- 27日(水) 2学期終業式
- 1月 9日(火) 3学期始業式 給食費引落日



[↑二中ホームページ
ご覧ください](#)

☆12、1月のSC来校日(相談希望は担任または教頭まで)

◇12月5日(火) ◇12月21日(木) ◇1月11日(木) ◇1月22日(月)

全国学力・学習状況調査の結果から

中学3年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」の結果を受けて、本校の傾向と改善の方向についてお知らせいたします。

国語…本校の平均正答率は、全国平均に対して、やや上回っています。

- ・「話すこと・聞くこと」では、目的や場面に応じて質問する内容を検討することや、聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができていました。今後は、話し手に質問する際に、質問の適切な機会を捉えるとともに、話し手が伝えたいことを確かめたり、足りない情報を聞き出したりするなど、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるような学習を大切にしていきます。
- ・本調査に設けられている「記述式」の設問、全てにおいて「無回答」の割合が全国と長野県の平均より下回り、本校生徒が「書くこと」に対しての抵抗が少なく、自分の考えを記述できる力がついてきていることがうかがえます。今後も様々な場面で自分の考えを発する学習を大切にしていきます。

数学…本校の平均正答率は、全国平均に対して、上回っています。

- ・事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することや、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することは、授業でも教材化して学んでいるため、正答率が全国と長野県の平均に対して大きく上回りました。引き続き、表、式、グラフのどれをどのように用いたかについて数学的に説明できる活動を充実することで、数学を活用して様々な問題を解決できる力を高めていきます。
- ・結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つことを見だし、説明することに課題が見られました。今後は、事柄が成り立つことの説明を振り返り、新たに成り立ちそうな事柄を予想する活動を取り入れる学習を大切にしていきます。

英語…本校の平均正答率は、全国平均に対して、上回っています。

- ・「読むこと」では、日常的な話題について、文と文との関係を正確に読み取ることや、事実と考えを区別して読むことができていました。今後は、説明文を読んで、概要を捉えるために、段落内の文と文との関係を読み取りながら、各段落の主な内容を捉えることができるようにする学習を大切にしていきます。
- ・「書くこと」では、正答率が全国と長野県の平均に対して上回っているものの、正答率は低く課題があります。今後は、読む目的に応じて要点を捉えた上で、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域を統合した言語活動を大切にしていきます。

生徒質問紙

- ・「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」について「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した本校生徒の割合が、全国と長野県の平均に対して上回りました。
- ・「将来の夢や目標を持っていますか」について「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した本校生徒の割合が、全国と長野県の平均に対してやや下回りました。

この調査から見える成果や課題を受けとめ、授業改善や総合的な学習の時間等でのキャリア教育の充実を図りながら、生徒にとってこれからの社会を生きていくために必要な資質・能力を育てていけるように努めてまいります。